

# 2021年度自己評価の結果について

(公表シート 様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川天使幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・学校教育法に基づき幼児を教育し、キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。
- ・キリストによって示された神の愛を知り、他者への祈りを通して世界観を持つ。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としてのビジョンを明確化する。
- ・幼児教育が人間形成の根を作る時期であることを教師と保護者が共有し、子どもを他者と比較することなく育てる。
- ・宗話や保育室や教会などで、園児が他者のために祈る体験を多く持つ。

## 3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	コロナ禍を見越して年間カリキュラム、月案、週案をたて、幼児の実態の変化、季節や環境の変化などと合わせて感染予防対策にもできるだけ柔軟に対応していく保育を行った。昨年からのコロナ禍の経験を活かし、保育の見直しをさら深め、色々な工夫や発想から楽しくのびのびと遊ぶことができる環境作りの設定をすることができた。行事も何が出来るかを重点に取り組んだ。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	コロナ禍の不安や不便さの中、園児が安心して園生活を送ることが出来るよう人ひとりをしっかり見つけ、話をよく聞き思いを受け止め、園児と共感しながら保育活動を行った。園児の様子などについて保育者同士で話し合い共通理解をするよう心がけた。劣化してきた遊具を重点に、園内の点検や危険箇所の確認を定期的に行い、安全管理に配慮をした。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	保育の『企画－実施－評価』の徹底を今年度も計り、保育の充実と教師の資質向上を目指した。子どもに寄りそった保育を目指すための目標の共有や職員間の意思疎通を深め、園児の成長を自分の喜びと感じ、園児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じ、生き甲斐を持って保育に取り組むことができた。
4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	保護者に個々の園児の様子を伝えていくよう、また家庭での様子を伝えて頂くよう連絡を密に取っていく努力をした。行事等で園に来ていただく機会が例年より少なくなったため、園からの連絡や発信など、各家庭との連携に務めた。保護者からの相談や要望も出しやすいように、普段からの声かけやアンケートなどに取り組んだ。

<p>5 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>市内の姉妹園や聾学校との交流が去年に引き続き行いにくく、少しでも交流ができるよう工夫をした。園外保育は、徒歩で近くを散歩したりして、自然に触れる機会を多く設けた。</p>
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的にを行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>研修会はリモートが増え、例年に近い回数研修を受けることが出来た。園内研修は予定より少なくなったが、近年行っていない。防犯の研修を行う事が出来、防犯の見直しを行った。</p>
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<p>園便りやクラス便り、週予定の発行を定期的に行うことができた。ホームページのブログからインスタグラムへ写真の発信方法を変更したが、切り替えに時間がかかり、対応の悪さに保護者からも要望が来た。切り替え後は動画も見ることが出来るなど、喜ぶ声も多く聞かれた。ただ、ホームページのブログ掲載は少なくなり、合わせて増やして欲しいとの要望も聞かれた。今後も個人情報保護にも配慮しながら、保護者の希望に応える情報発信を行いたい。</p>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は、コロナ禍2年目となり、昨年度の経験を活かしながら工夫を重ねて来た。保育の見直しや園の課題の取り組みを、感染防止対策などにも考慮しながら取り組んだ。今取り組むべき課題を、全教職員が共通理解しながら保育にあたる努力をし、一人ひとりの園児をみんなでよりそって見守り育てることができた。それぞれが自己評価をし、取り組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。インスタグラムの取り組みで、保護者が園からの発信への関心が高いことが伺われ、園児の保護者だけではなく一般の方へ向けても更に工夫や努力をしていく必要を感じた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<p>感染症の予防対策を一年間通して行い、園児や職員も日常のこととして行う事ができるようになったが、常に見直しや工夫を重ね引きつづき対応していきたい。安全管理の施設面での対応と、教職員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの見直しを引き続き行っていきたい。</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>今後も幼児に対応した個別の指導計画の作成、職員配置などを検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携も保護者と一緒に検討していく。また、当該児が進学する小学校との連携を密接にしていきたい。特別支援についての研修はこれからも継続して参加し、知識と理解を深めていきたい。</p>
<p>園に対する保護者の満足度の把握</p>	<p>保護者からの意見を聞く機会を、アンケートなどを通して引き続き作っていききたい。本学園の建学の精神や本園の特色を大切にしつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。</p>

## 6. 学校関係者の評価 A(満足)・B(やや満足)・C(やや不満)・D(不満)

- ◎ **保育の計画性** A-71% B-29% C-0% D-0%
- ・コロナで色々大変な中、色々やっていたことがよかった。
  - ・コロナ禍の中で、出来る範囲での行事計画、運営には満足している
  - ・コロナ禍で見に行ける行事が減ったことが残念だった。
- ◎ **保育の在り方、幼児への対応** A-86% B-14% C-0% D-0%
- ・いつも子どもに明るく接し、親も自然と笑顔になった。対応力がすごいと思った。
  - ・子どもたちが先生方を大好きで良く話をするので安心している。
- ◎ **保育者としての資質** A-71% B-14% C-14% D-0%
- ・子どもたちの安全や健康を守っている。子どものちょっとした変化もよく見ている。
  - ・一生懸命、責任を持って保育をしている。
  - ・コロナに感染した園児がいることを知らせる、園の対応に疑問を持った。
- ◎ **保護者への対応及び家庭との連携** A-86% B-14% C-0% D-0%
- ・何かあった時は連絡があり、安心できる。園生活の些細なことも教えてくれる。
  - ・個別での電話連絡、個人懇談での内容、対応に満足している。
- ◎ **地域社会との連携** A-43% B-57% C-0% D-0%
- ・子どもが園外保育をととても楽しみにしていた。
  - ・小学校とのリモート交流や、エンジェル親子教室の子どもたちとの交流が出来て良かった。
  - ・バザーの縮小で、ご近所の方に来園してもらえず残念だった。
- ◎ **研究と研修** A-29% B-42% C-0% D-0% 回答無し-29%
- ・コロナ禍で研修もままならない状況だが、先生方が他の園や保護者と連携をとり、子どもたちを指導してくれていると思う。
  - ・保護者には見えづらい部分な為、評価は控える。
- ◎ **情報公開** A-42% B-29% C-29% D-0%
- ・ブログも良かったがインスタグラムは更に良い。動画もあり動きが加わり親近感が湧く。
  - ・ブログからインスタに移行するまでの間、幼稚園での様子が分からなくなり残念だった。
  - ・ブログを楽しみにしているが、今年は更新頻度が少なく少し寂しい。
  - ・ツイッターをしないので、前のようにホームページでブログをたくさんあげて欲しい。

## 7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間にも周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。